

令和5年度 学校自己評価書（川南町立東小学校）

項目	評価指標 及び 具体的目標	方策・手立て	自己評価		結果の考察・分析及び改善策等
			項目	総合	
I 町民が生涯を通じて学び、教育に参画する社会づくりの推進					
1	<p>家庭教育支援の充実に努める。</p> <ul style="list-style-type: none"> 家庭教育学級、学級懇談会の活用 「早寝、早起き、朝ごはん」等生活リズム定着への啓発 保護者相談、個別面談の充実 	<ul style="list-style-type: none"> 学級役員との相談を通して学級懇談会の内容を工夫し、学級通信、HP等での啓発を継続する。 メディア依存の解消も含め、生活リズム定着と実践に向け、家庭教育学級や学校保健委員会の取組を工夫する。 関係機関との連携を図るとともに、傾聴を基に保護者の願いの把握に努める。 	2.9	3.1	<ul style="list-style-type: none"> 年に1回、オープンスクール時の学級懇談会で特別支援3学級の座談会を行っている。 6月の参観日には、メディアとの関わり方をテーマに全体講演会を実施し、啓発活動を進めている。 学校保健委員会の取組として、参観日の懇談会で毎回、生活リズムを話題にしているところである。 児童アンケート19では、早寝早起きメディアの時間が守れている児童は、52%であり、昨年度とほぼ変わらない傾向であった。次年度も継続して啓発していく。 月行事に位置付けている個別面談を夏季休業中に全家庭を対象に行っている。また、随時電話相談や個別面談を行い、家庭と連携した教育活動に取り組んでいる。
			3		
			3.3		
2	<p>学校や家庭、地域等が一体となって取り組む教育を推進する。（PTA活動）</p> <ul style="list-style-type: none"> 保護者、地域と一体となった挨拶運動や読み聞かせ活動の推進 コミュニティ・スクール協議を基にした協働事業の推進 	<ul style="list-style-type: none"> 学校運営協議会委員等との連携を図り、挨拶運動や避難訓練実施への協力体制を構築する。 公民館活動（清掃活動等）へ積極的に参加する。 地域と連携した読み聞かせ活動を継続し家庭への啓発を図る。 ※金鈴学園、東保育園との連携 	3.2	2.8	<ul style="list-style-type: none"> 見守り隊の方々との対面式は、感染症や暑さ対策からオンラインで行った。テレビでの紹介となったが、顔が大きく見られて子どもたちもしっかりと顔を覚えてもらうことができた。 児童アンケート13の「進んであいさつをしていますか」の項目では、「よくできている」と回答した児童が昨年度より増加していた。（R4：56%⇒R4：67%）少しずつではあるが、自ら進んであいさつする児童が増えてきている。 川南交番の協力をいただき、児童の下校安全指導を行っている。1年生の教室への移動交番やスクールコンサートの機会を通して、交通安全に関わる指導を継続的に行っている。 地域の方と協力した浪掛と伊倉の海岸清掃を7月に計画・実施した12月の花いっぱい活動には、学校から参加呼びかけを行い、たくさんの保護者、児童の参加が見られた。 保護者アンケート4の「コミュニティスクールとして学校と地域が協力して子どもたちを育てようとしているか」の項目において、「よくできている」「できている」を合わせた割合が昨年度より増えた。（R4：90%⇒R5：93%）
			2.3		
			2.8		
II 社会を生き抜く基盤を培い、未来を担う人財を育む教育の推進					
1	<p>読書活動を推進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 年間貸出冊数14,000冊以上の継続 読書に親しむ時間の確保 	<ul style="list-style-type: none"> 毎週水曜日に朝読書の時間を設定し、継続する。 地域、保護者との連携による読み聞かせ（月1回）を推進する。 	2.8	2.7	<ul style="list-style-type: none"> 水曜日の朝読書の徹底ができていなかった。 委員会児童を中心に読書量を増やすための取組（昼休みのイベントや読み聞かせなど）を行ったことにより、児童の図書貸し出し冊数は多くなっている。12月現在 11892冊で、目標の14,000冊に到達できるペースである。 図書事務による「読み語り」など本に親しみながら読解力も高める取組を継続している。 地域、保護者の方の読み聞かせが充実しており、子どもたちもたいへん楽しみにしている。
			2.6		
2	<p>確かな学力を育む教育を推進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 学ぶ意欲の向上 基礎的学力の定着（CRTにおける全学年全国平均以上） 授業等におけるICT機器の積極的活用 	<ul style="list-style-type: none"> RS（リーディングスキル）の向上を視点に授業改善に取り組む。（宮崎大学との連携） 認知機能トレーニング（コグトレ）の実施。（特に1・2年生） ICT機器活用を手立てとした学力向上につながる授業改善を進め、指導力の向上を目指す。※ICT機器、アナログ教材双方の利点を生かす。 	2.7	2.7	<ul style="list-style-type: none"> 児童アンケート14「一生懸命勉強しているか」については、「毎日している」と回答した児童が増えている。（R4. 56%⇒R5. 67%） 宮崎大学の竹内教授にご講話いただき、RS（リーディングスキル）についての認知を深めた。唐中校区合同研修会で、全員授業を行い、読解力を高める授業実践を行った。 低学年は、週に1～3回ほどコグトレを実施して、認知機能を高めるようにした。 各学期末・学年末の学びの確認の徹底を図っていく。 児童アンケート1「楽しく分かりやすく教えてくれるか」については、「とても分かりやすい」と回答した児童が増えている。（R4. 55%⇒R5. 64%） タブレットの活用方法（AIドリル等）についてさらに研修をしたい。 校時程を工夫することで、教材研究の時間を確保し、個に応じた指導の充実に努める。
			2.7		
			2.7		
3	<p>人権を尊重し豊かな心を育む教育を推進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 人権教育（命を大切にする教育）に関する参観授業の設定 児童縦割り班活動の継続 教育相談の充実（友達に優しく接する児童の割合95%以上） 	<ul style="list-style-type: none"> 6月参観日に人権に関する授業を実施し、思いやりの心、自他の命を大切にすることを育てるとともに、保護者への啓発を図る。 ピア・サポートの視点で教育活動の工夫・改善を図る。 児童縦割り班によるボランティア活動や清掃活動等を実施する。 教育相談アンケートを実施し、傾聴を基に月1回の教育相談を実施する。また、ハートフル委員会、ケース会議等を通して児童の様子を共有し支援にあたる。 	2.7	2.7	<ul style="list-style-type: none"> 6月参観日に全学年人権に関する授業を実施した。その中でも1年生は、動物愛護センターの方をお招きして、命を大切にする授業を行い、保護者への啓発を図った。 夏季休業中に職員に向けてのピア・サポートについての研修を行った。 縦割り班による外そうじや校内清掃を計画的に行っている。 ハートフル委員会では、学担以外の視点からもたくさんの意見をいただいて、効果的に運営できた。 児童アンケート3「先生は困ったときに話を聞いてくれるか」について「よくしてくれる」と回答した児童が増えている。（R4. 64%⇒R5. 70%） 中部教育事務所から派遣されたスクールカウンセラーを活用し、相談活動を推進している。
			2.7		
			2.7		
4	<p>特別支援教育を推進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 個に応じた指導・支援の充実 共生社会をめざした人権感覚の醸成 児童の自己肯定感の向上 	<ul style="list-style-type: none"> 特支コーディネーターを中心に体制を整備するとともに、個別の教育支援計画、個別の指導計画の作成を通して指導・支援にあたる。 合理的配慮への保護者の理解を得るとともに、保護者、職員間での支援の方向性を共有し、連携を通して児童の自己肯定感を高める。 外部専門機関をケースに応じて活用するとともに保護者相談を継続する。 	2.7	2.7	<ul style="list-style-type: none"> 4月に個別の教育支援計画と個別の指導計画については、作成についての共通理解を図った。 7月の個人面談で、合理的配慮や個別の支援について保護者と合意形成を図り、押印をもらうようにした。 チーフコーディネーター、エリアコーディネーター、スクールカウンセラー等の外部機関を活用し、保護者と連携を図った。 放課後デイサービス・保護者との三者面談を行い、児童の支援体制について確認した。
			2.7		
			2.7		

5	<p>郷土を愛し地域社会に参画する態度を育む教育を推進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域人材を活用したふるさと学習の推進 ・地域行事への積極的な参加 	<ul style="list-style-type: none"> ・町地域学校協働本部事業を活用し、地域人材を交えた学習を積極的に進め、地域人材を通して川南のよさを。 ・町歌を歌う場を教育活動の中に計画的に位置付けるとともに、普通の授業の中に「川南では・・・」という視点を持ち、ふるさと川南への理解を深める。 ・連携を基に公民館活動等への参加を呼びかける。 	2.7	2.7	<ul style="list-style-type: none"> ・5月に町バスを活用し全学年で地域について学ぶ「ふるさと学習」を実施した。昨年度作成した地域人材リストを活用し計画的に地域人材を活用することができた。 ・児童アンケート6「川南の学習」については、年々向上している。 ・5年生のお米学習では、JA青年部の方や農家の方をお呼びして、米作りの良さについて学びを深めた。 ・地域の海岸清掃活動、ゴミ拾い・花植え活動への呼びかけを行い、多くの児童の参加が見られた。
			2.7		
			2.7		
6	<p>キャリア教育を推進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キャリア教育の視点を生かした授業実践 ・キャリアパスポートを通じた家庭との連携 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域人材の授業参加を進め、その人の仕事観、生き方を学ぶ機会を設ける。学びを基に考えを深めさせる。 ・キャリアパスポートの活用による家庭との連携を通じたキャリア教育の充実を図る。 	2.7	2.7	<ul style="list-style-type: none"> ・外部講師の方が授業で講話等される際は、仕事観や生き方などの視点も含め、話をいただいた。 ・キャリアパスポートを活用し、児童の各学期反省や行事等の振り返りを学校と家庭で共有し成長を見届けることができた。
			2.7		
7	<p>社会の変化に対応した多様な人材を育む教育を推進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ICT機器の活用による興味・関心、意欲の伸長 ・国際化の進展に伴う外国語教育の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・デジタルTVやタブレット等の授業での日常的な活用を図り、目的を明確にした学習を進める。 ・ALTとの連携により英語への理解を図る。また、外部講師等の活用を図る。 	3.0	2.9	<ul style="list-style-type: none"> ・デジタル教科書の活用は全学年で活用し、児童の学習理解につながっている。次年度、町の予算でAIドリルの導入が決定しているため、積極的に活用していきたい。 ・タブレットの活用については、学年差がある状況である。児童アンケート2「タブレットを使った授業」については、昨年度より低下している。効果的な場面で活用できるようICT支援委員を活用しながら職員の研修にも力を入れ、授業改善につなげていきたい。 ・ALT訪問時には、計画的に外国語や外国語活動の授業を行うことができた。 ・11/27に5・6年生を対象に国際交流員のヤンヘジョンさんを招き、韓国の概要や文化について学び韓国の理解を深めることができた。
			2.8		
III 教育を支える体制や環境の整備・充実					
1	<p>教職員の資質向上と働き方改革の推進に努める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・OJT、メンター機能を活用した職員間の対話を重視 ・働き方改革推進プランによる具体的取組の推進と保護者への理解 	<ul style="list-style-type: none"> ・メンターチーム意義の確認と全職員が研修等において学ぼうとする姿勢を評価していく。 ・コンプライアンス研修等により法令順守等への意識の継続を図る。 ・本校における取組（勤務時間、業務分担、開錠・施錠、電話連絡、個人面談等）を保護者に周知し実行する。 	3.0	3.2	<ul style="list-style-type: none"> ・校内研修の中で初任者による道徳の模擬授業を行い、全職員が授業作りにかかわることができた。 ・夏季研修でミニ研修（OJT研修）を行い、教職員相互の学び合いを通して資質向上を図っている。 ・教職員による児童生徒への性暴力等の防止に関する周知徹底と図るとともに児童対象にアンケート調査を行っている。 ・朝の開錠時刻と退庁時刻の目安を示すとともに出退勤の管理を職員室のパソコンで行うことで意識付けを図っている。 ・コンプライアンス通信の配付と掲示、新聞の切り抜きの回覧、職員連絡会での話など、繰り返し話題にすることでコンプライアンス意識を高められるようにしている。
			3.5		
			3.2		
2	<p>安全、安心な教育環境の整備・充実に努める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・危機管理マニュアルの見直しと研修、非常時訓練の充実 ・事故等の防止をめざした保護者、地域との連携 	<ul style="list-style-type: none"> ・安全点検の継続実施の他、交通教室、各種避難訓練を計画的に行う。 ・適時の徹底した安全指導と保護者、地域連携による児童の事故防止に努める。 ・保護者相談等を活用しアレルギー対応ミス0に努める。 	3.5	3.4	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月1日に安全点検を実施し、修理が必要な箇所は定期的に修理を行うことができた。 ・危機管理マニュアルの見直しを行い、夏季研修にて全職員で共通理解をした。 ・交通安全教室や不審者対策避難訓練及び火災、地震・津波避難訓練等、学校安全への取組を計画的に行った。訓練等を通して児童自身が自分の身を守る意識を高めることができた。 ・避難訓練（風水害）5月実施し、保護者と協力し児童の引渡し訓練を行った。計画通りに、スムーズに児童の引渡ししできた。 ・第1回東っ子育成協議会において、地域の方や保護者に通学路危険箇所の情報提供をお願いしたり、地域での児童の様子について情報をいただいたりして、学校と地域が協力して児童の安全を守る取組を行った。 ・献立表を個別に配布し、アレルギーへの確実な対応を心がけている。
			3.2		
			3.6		
IV 文化やスポーツに親しむ社会づくりの推進					
1	<p>学校体育の推進に努める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・望ましい生活リズムの習慣化 ・基礎体力の向上 ・健康増進意識の高揚（う歯治療率80%以上） 	<ul style="list-style-type: none"> ・「早寝・早起き・朝ごはん」メディア使用の約束を、学校保健委員会、学級懇談等の活用により習慣付けを図る。 ・東っ子パワーストレッチタイムの設定、及び体育科学習カードを活用することで基礎体力の向上を図る。 ・発達段階に応じた就寝時間、メディアとの接し方、う歯治療について保護者に提示し理解を促す。 	3.0	3.0	<ul style="list-style-type: none"> ・養護教諭部会で生活アンケートを実施しており、現状把握や今後の指導に活用していく。 ・東っ子パワーストレッチタイムを朝の会に全学年で実施した。 ・運動会では、走る競技（徒走・リレー）が中心だったので、走ることが苦手な児童のことも配慮して団技なども取り入れていくとよいのではないかと。 ・う歯治療については、保護者だけでなく、児童にも歯ブラシチェックや治療の話をする。 ・体力テストで落ち込んでいた種目の強化を行い、3月に希望者のみ再計測する。
			2.9		
			3.0		